

④ 課題整理（中国向けびわ茶）

ツアーバスで到着したクルーズ船の利用者を特設ブースへ集客し、モデル販売を実施。
アンケートの結果も踏まえ、以下のとおり課題を整理した。

NO	分類	課題	対応策
1	受渡し	お茶の試飲等を通じて中国人旅行者の反応はよいものの、商品がその場で引き渡されない不安感や受渡しの煩雑さ等から購入を断念される顧客が多い	現地ツアーを請け負っているランドオペレーター会社と協働で、バスで移動中などに引き渡すスキームが考えられる
2	販売	中国向けで持ち帰りが可能な農産物はお茶のみということで、品揃えの観点からも販売時のインパクトが弱い	農産品と合わせて中国人に人気の高い商品を一緒に販売をする
3	決済	人民元での決済要望がある	中国人の多くが利用しているスマホ決済のAlipay（支付宝）やWe Chat Pay（微信支付）などの電子マネーの導入が有効

写真 特設ブース付近の状況



(3) 那覇港での取組（台湾向けナガイモのモデル販売）

① 取組内容

2016年10月7日に、クルーズ船で那覇港へ寄港した訪日台湾人旅行者を対象に、旅行開始前に台湾国内で予約購入をされたナガイモの植物検疫受検を代行して、検査後に発給された植物検疫証明書と検査済みのナガイモを那覇港ターミナル内の受渡ブースで購入者へ引き渡すビジネスモデルを実施。

販売商品

青森県産 ナガイモ 1.2kg 720 円（税込）

・台湾で人気の高いナガイモを選定

（出所）平成 27 年 産経ニュース 長芋、台湾で予想外のブーム 記事抜粋

「とりわけ輸出を伸ばしている意外な農産品がある。北海道十勝地方が産地の長芋だ。地域ブランド「十勝川西長いも」は台湾へ輸出を開始した平成 11 年から 26 年までに、輸出額が 3.6 倍の約 7 億 5 千万円に拡大した。そのきっかけとなったのが、約 15 年前に台湾の医学界が長芋を漢方薬と位置付けたこと。長芋は健康食材として認知され、ブームに着目した仲卸業者が、十勝川西長いもを試験的に輸出したところ爆発的に売れたのだ。」

販売方法

予約販売方式による輸出モデル

※ナガイモは 24 時間の線虫検査が必要なため、寄港日当日の検査では間に合わない

・台湾佐川急便より、対象クルーズ船のツアーを取扱っている旅行代理店へ連絡を取り、ツアー参加者へナガイモの予約販売を照会

東南旅行社 <https://www.settour.com.tw/>
雄獅旅行社 <http://www.liontravel.com/>
百威旅行社 <http://www.bwt.com.tw/>
鳳凰旅行社 <http://travel.com.tw/>
燦星旅行社 <http://www.starttravel.com.tw/>
五福旅行社 <http://www.lifetour.com.tw/>
易遊網 <http://www.eztravel.com.tw/>



出所 東南旅行社ツアー募集ホームページ

保管場所

佐川急便那覇営業所（沖縄県糸満市西崎町 5-13-1）

・ナガイモの鮮度保持のため、植物検疫受検前後は冷蔵庫で保管

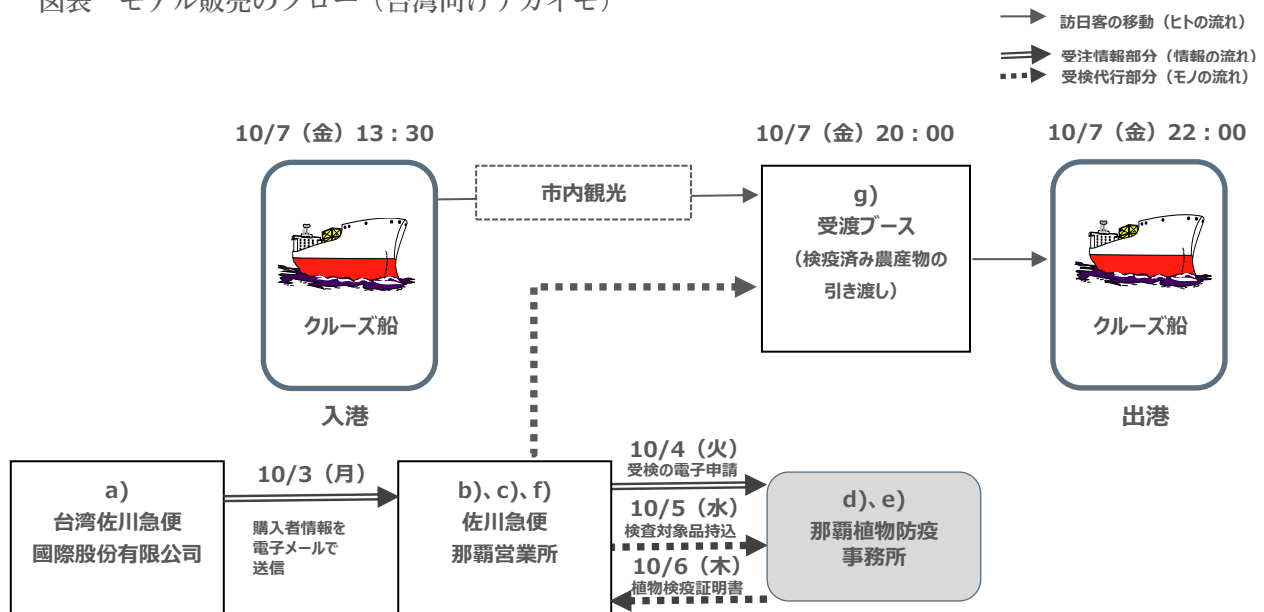


写真 佐川急便那覇営業所の全景と冷蔵庫前室、冷蔵庫内保管状況

受渡場所

那覇クルーズターミナル内エントランスホール（沖縄県那覇市若狭 1 丁目 28 番地）

図表 モデル販売のフロー（台湾向けナガイモ）



- a) **10/3 (月)** 台湾佐川急便から購入者情報を電子メールで佐川急便那覇営業所へ送信
- ↓
- b) **10/4 (火)** 購入者情報をもとに、植物検疫受検の電子申請を行う（入港日の3日前）
- ↓
- c) **10/5 (水)** 那覇植物防疫事務所へ検査対象商品を持込み 検査依頼
- ↓
- d) **10/5 (水)** 那覇植物防疫所において、24 時間の線虫検査を実施
- ↓
- e) **10/6 (木)** 合格であれば植物検疫証明書が発給される
- ↓
- f) **10/6 (木)** 佐川急便那覇営業所の冷蔵庫で一時保管
- ↓
- g) **10/7 (金)** 受渡ブースで検疫済み商品と植物検疫証明書を購入者へ引き渡す

受渡実施日 2016年10月7日(金)

対象クルーズ船 GOLDEN PRINCESS (イギリス船籍) 108,865トン 2,636人乗り

クルーズ船航路 10/6 台湾基隆 ⇒ **10/7 那覇** ⇒ 10/8 石垣島 ⇒ 10/9 基隆

販売件数 2件

写真 対象クルーズ船 (GOLDEN PRINCESS) と那覇港クルーズ船ターミナル



写真 ナガイモ販売商品



検査のため商品の一部をカット 切断部分と検疫テープ箇所



写真 ターミナル内受渡し状況



約 2,300 名の乗船客が一斉に乗船するため、受渡しカウンター前は一時的に混雑状況になる

② アンケート結果（台湾向けナガイモ）

モデル販売の実施と並行して、購入者へ受渡時にアンケート調査を実施。
アンケート結果は以下のとおりである。

回答数 2 人（女性 2 人）

Q1.野菜等の農産物を台湾へ持ち帰るために植物検疫が必要なことを知っていましたか？



Q2.検疫済みの農産物をターミナル内で受け取れるサービスを便利だと感じますか？



Q3.日本の食べ物で好きなものは何ですか？複数回答

イチゴ、スイカ、メロン、サクラambo、リンゴ、コメなど

果物が好きだが台湾へは
持ち帰ることができない

③ 課題整理（台湾向けナガイモ）

NO	分類	課題	対応策
1	販売	予約販売に協力をしていただけるクルーズ船社や旅行代理店が少ない	クルーズ船社や旅行代理店に対して、販売価格に応じた手数料を支払うなどの対応が必要
2	検疫	台湾で人気の高いサツマイモを南西諸島（沖縄県・鹿児島県の奄美諸島）を経て輸出する場合は規制がある	サツマイモを南西諸島から輸出する場合は事前に植物防疫所へ相談をする必要がある
3		農産物の品目によっては線虫検査（24 時間）の対象で、到着日の当日中に出発するクルーズ船では予め輸出検査の申請が必要	線虫検査が必要な農産物 島ラッキョウ、ナガイモ、キャベツ、ネギ、ミョウガ、レタス、ショウガ、ダイコン、タマネギ、ニンジン、ワサビ等
4	受渡し	ターミナルの利用スペースに限りがあり、混雑時には支障をきたす恐れがある	ターミナル管理者と協議を行い、屋外などで出国者の導線上で支障のない適切な受渡しスペースを設定してもらう

(4) 横浜港での取組（シンガポール向け和牛カレーのモデル販売）

① 取組内容

2016年10月9日と10月13日に、横浜港からクルーズ船で出港する訪日外国人旅行者を対象に、大さん橋国際旅客船ターミナル内の特設ブースで和牛カレーを販売するビジネスモデルを実施。

販売商品

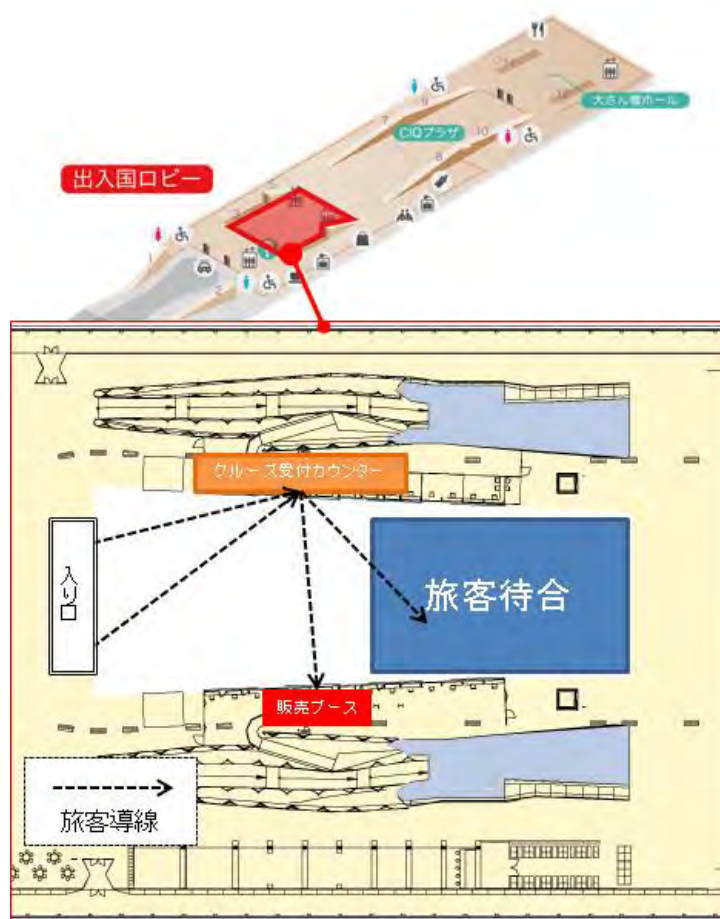
和牛“横濱ビーフ”のホテルカレー（4袋）3,240円（税込）

- 常温で長期間保存が可能な和牛商品を選定
- 地元産品の商品を選定

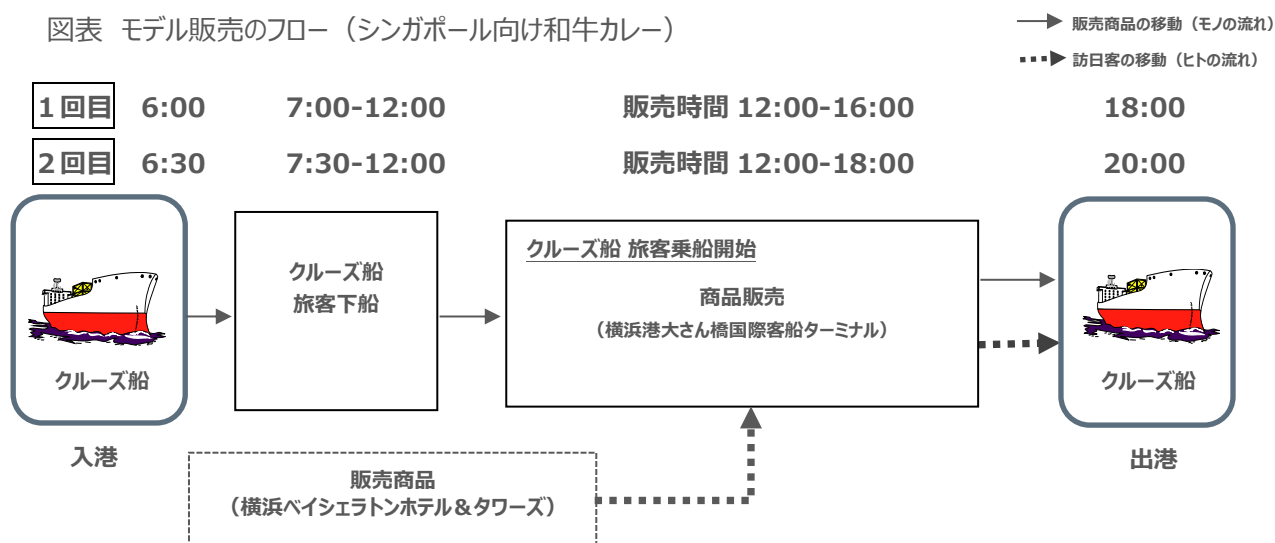
販売場所

大さん橋国際旅客船ターミナル特設ブース（神奈川県横浜市中区海岸通 1-1-4）

図表 大さん橋国際旅客船ターミナル図



図表 モデル販売のフロー（シンガポール向け和牛カレー）



実施 1 回目 2016 年 10 月 9 日（日）販売時間 12:00～16:00

対象クルーズ船 DIAMOND PRINCESS（イギリス船籍）108,865 トン 2,706 人乗り

クルーズ船航路 10/9 横浜 ⇒ 10/11 大阪 ⇒ 10/13 釜山 ⇒ 10/15 上海 ⇒
 10/18 香港 ⇒ 10/21 ホーチミン ⇒ 10/23 バンコク ⇒
10/26 シンガポール

横浜港乗船人数 2,400 人

販売件数 1 件



写真 DIAMOND PRINCESS

実施 2 回目 2016 年 10 月 13 日（木）販売時間 12:00～18:00

対象クルーズ船 VOLENDAM（オランダ船籍）60,906 トン 1,440 人乗り

クルーズ船航路 10/13 横浜 ⇒ 10/15 鹿児島 ⇒ 10/16 長崎 ⇒ 10/17 済州 ⇒
 10/19 北京 ⇒ 10/23 上海 ⇒ 10/27 香港 ⇒ 10/29 ハノイ ⇒
 10/31 ダナン ⇒ 11/2 ニャチャン ⇒ 11/3 ホーチミン ⇒
 11/5 シアヌークビル ⇒ 11/6 バンコク ⇒ 11/8 サムイ ⇒
11/10 シンガポール

横浜港乗船人数 1,000 人

販売件数 1 件



写真 VOLENDAM

② 販売用パンフレット（英語）

図表 和牛カレー販売パンフレット



写真 和牛カレー販売商品



和牛"横濱ビーフ"のホテルカレーは、人気の横濱土産をおすすめするヨコハマ・グッズ 001 に認定されている商品

（出所）横浜ベイシェラトン ホテル&タワーズ ホームページ

写真 大さん橋国際旅客ターミナル 販売ブースの状況



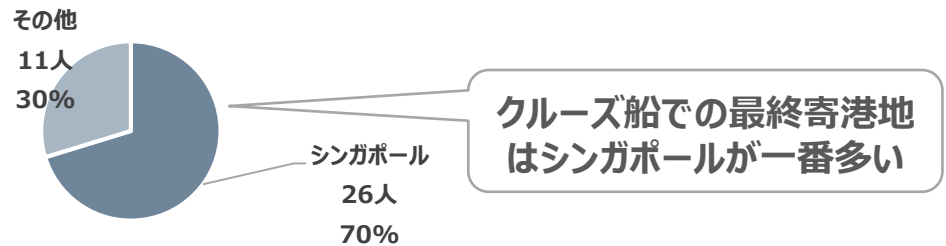
③ アンケート結果（シンガポール向け和牛カレー）

モデル販売の実施と並行して、横浜港からクルーズ船で出港する訪日外国人旅行者へアンケート調査を実施。

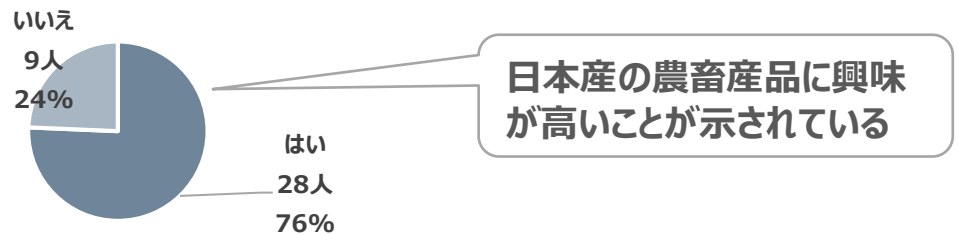
アンケート結果は以下のとおりである。

回答数 37 人（オーストラリア 14 人、米国 8 人、カナダ 2 人、シンガポール 1 人、その他 12 人）

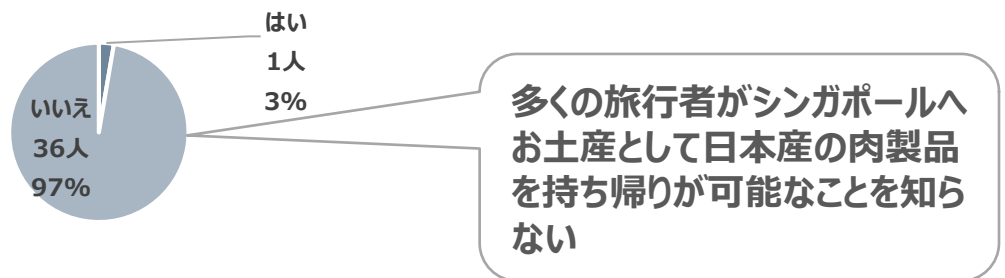
Q1.旅行の最終目的地はどちらですか？



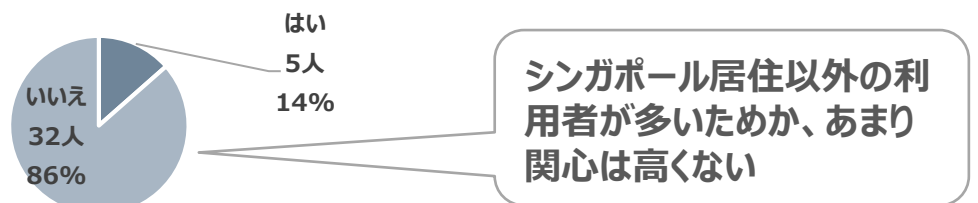
Q2.日本滞在中に日本産の農畜産物を食べましたか？



Q3.シンガポールへ日本産の肉製品を持ち帰ることが可能なことはご存知ですか？



Q4.シンガポールへ日本産の農畜産物をおみやげとして持ち帰りしたいと思いますか？



④ 課題整理（シンガポール向け和牛カレー）

NO	分類	課題	対応策
1	対象 航路	年間を通して日本発シンガポール向けの航路が少ない	年間のスケジュール調査で、シンガポール向けクルーズ船は2便のみであった シンガポール向けの直行便が多く就航されるとお土産販売の機会創出につながる
2		航海日数が長いため、お土産で食品を購入する動機に至らない (航海日数は18日と28日間)	長距離クルーズ船では船旅を楽しむことが目的の利用者も多く、とくに最初に搭乗する港では手回り品の持ち込みもあり、途中寄港地での販売の方が有効である可能性がある
3		最終寄港地のシンガポールから第三国へ乗り換える利用者が多く、食品などお土産を購入する動機に至らない	長距離クルーズ利用者の特性として、発着地を起点とした国や地域の方が利用されるケースは少ないので、嗜好や賞味期限などを考慮して商品の選定が必要である
4	商品 選定	販売した商品（和牛カレー）が旅行者（欧米人）の嗜好にあっていなかった	事前の調査が不足していたが、欧米人の方にも好まれる商品の選定が必要
5		船内へ持ち込みが可能な商品が限られている	クルーズ船社と調整をして、欧米人の嗜好にあった商品選定が必要
6		販売する商品の産地が限定される	必要に応じて港湾管理者と調整する機会を設けてもらう

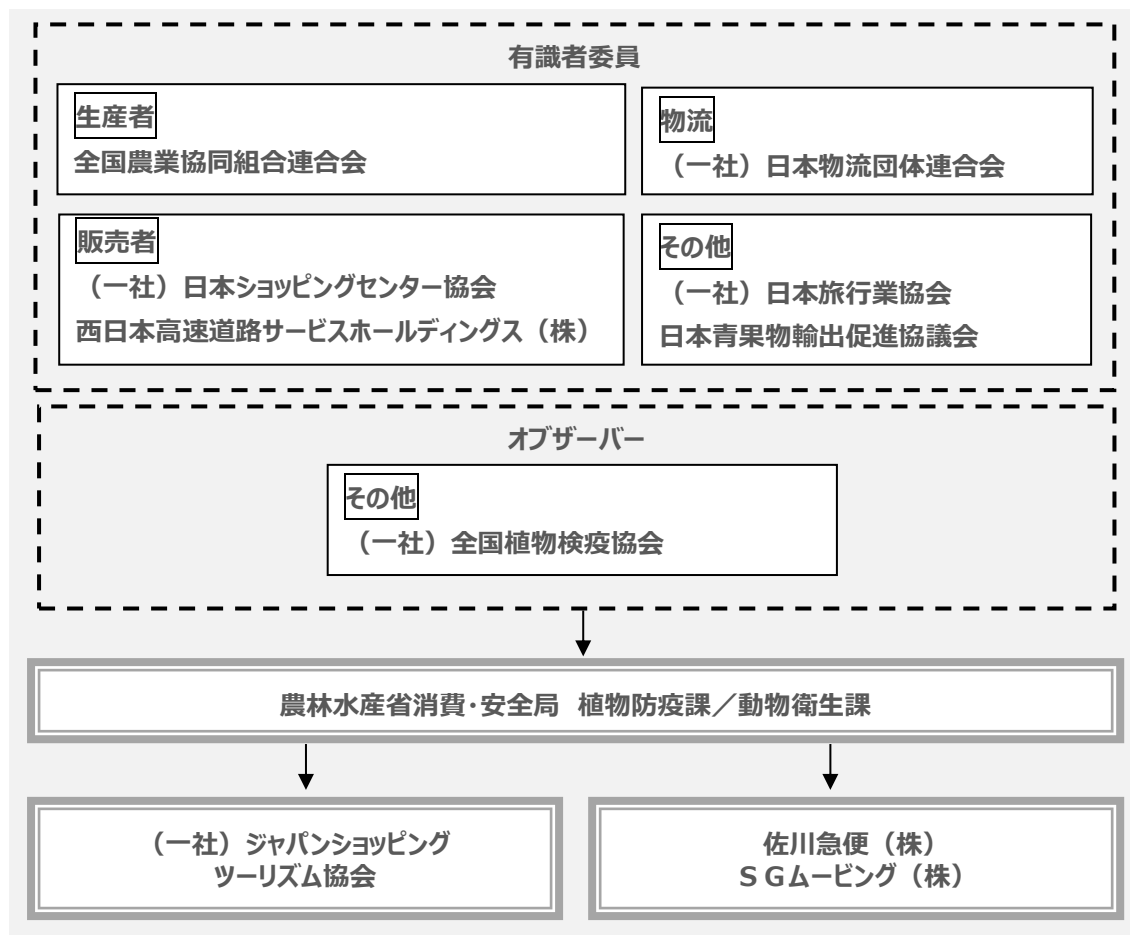
6. 検疫上の課題整理

(1) クルーズ船対応における課題整理

NO	課題	対応策
1	クルーズ船の販売では大量の荷口での購入が想定され、1度の受検で対応が可能かどうかの不安がある	植物防疫所と事前に申請方法や商品の受け渡し方法などを調整することで、対応が可能
2	植物検疫のため一部の商品では開封をしてサンプルを抜き取る必要がある	商品別に検査の内容を販売時に告知することで購入者の理解を得る
3	不合格となったときに代品の手配や再受検の時間がない場合が考えられる	不合格の場合は返金の対応をするなど、購入者へ検査後の対応を予め告知することで、購入者の不利益を防ぐことが可能

7. 有識者検討会

本事業では、販売事業や物流事業等に知見を持つ有識者を構成員とする有識者検討会を設置し、「おみやげ農畜産物検疫受検円滑化支援事業 有識者検討会」を平成 28 年度内に 4 回開催。モデル販売を通じて事業者等が取り組みやすい検疫手続きや体制確立等の検討を重ねた。



■ 開催日程

開催回	実施日	検討内容
第 1 回	平成 28 年 7 月 28 日	モデル販売の実施事業計画報告
第 2 回	平成 28 年 11 月 2 日	モデル販売の取り組み状況について中間報告
第 3 回	平成 29 年 2 月 7 日	モデル販売の取り組み状況について中間報告
第 4 回	平成 29 年 3 月 22 日	最終報告書の取りまとめ案について

8. まとめ

2016 年の訪日クルーズ旅客数は前年比約 8 割増の 199 万人で過去最高を記録。国交省で 2016 年 3 月に発表された「明日の日本を支える観光ビジョン」の中で目標値を「訪日クルーズ旅客を 2020 年に 500 万人」に設定。全国の自治体からもクルーズ振興を通じたお土産品の購入などの経済波及効果が期待されている。クルーズ船を利用して来る訪日外国人旅行者は近隣の国や地域からの航路であり、多くのクルーズ船航路が中国や香港、台湾からの旅行者に限定されている。

今回のモデル販売では、訪日外国旅行者が購入した農畜産物を動植物検疫を経て円滑に持ち帰ることができるような検疫手続や体制を整備することを主眼に取り組みを実施。中国向けでは携帯品で持ち帰りが可能な緑茶を、台湾向けでは携帯品で持ち帰りが可能な葉菜類や根菜類の野菜から台湾で人気の高いナガイモを、シンガポール向けでは 2016 年 1 月 15 日より解禁となった肉製品を選定。結果、販売件数が伸びなかった要因の一つとして、旅行者が求める商品ニーズとそれぞれの国へ持ち帰ることができる商品のニーズが合っていないことが考えられる。今後、植物検疫協議などの交渉を経て相手国に対して携帯品で持ち帰りが可能な輸入解禁の品目が増えることを期待する。

植物検疫の受検方法では、クルーズ船を利用する訪日外国人旅行者が、滞在時間や申請方法、言語の問題などを考えると旅行者自身が申請をすることは現実的ではなく、お土産用農畜産物を販売する事業者が植物検疫の代行受検をすることが必然であると考えられる。農産物の場合、代行受検を実施する事業者は販売する商品や持ち帰り国、販売予定数量、販売スケジュールなどを担当の植物防疫所と緊密に打合せの上、販売に臨むことが重要である。販売件数が多い場合、インターネットによる輸出検査の申請が有効であり、また、担当の植物防疫所へ照会をすれば対応する農産物の学名などをサポートしてもらうことができる。入力する内容は英語になるので、購入者から輸出検査に必要な情報（住所・氏名など）を手書きではなく、携帯端末などを利用してデータで処理をした方が効率がよいということがわかった。

また、販売方法では旅行開始前の予約販売やクルーズ船内、ランドオペレーターとの連携などの販売も有効な手段であると考えが、交渉をした何れの現地旅行代理店、クルーズ船社、ランドオペレーターとも、積極的な協力を得ることが出来なかった。今回は新規の試みであったため、販売予定数量の見込みが立たず、交渉先の会社にとってメリットを出せなかったことが要因の一つではなかったかと考える。

クルーズ船を利用する訪日外国人旅行者へ農畜産物を販売するには、販売事業者が対象とする旅行者のニーズを分析し、販売する商品を選定して、担当する植物防疫所や動物検疫所、クルーズ船社、港湾管理者、ランドオペレーターなどと連携をして実施をすることが望ましい。また、代行受検の業務は物流事業者などへ委託が可能であり、それらの代行費用やランドオペレーターへの手数料などもあわせて、販売価格を設定する必要がある。今後のクルーズ船を利用する訪日外国人旅行者の伸びを勘案すると、持ち帰り国とニーズのある商品の組み合わせで、有望な市場として成長が期待できるマーケットになるのではないかと推察する。

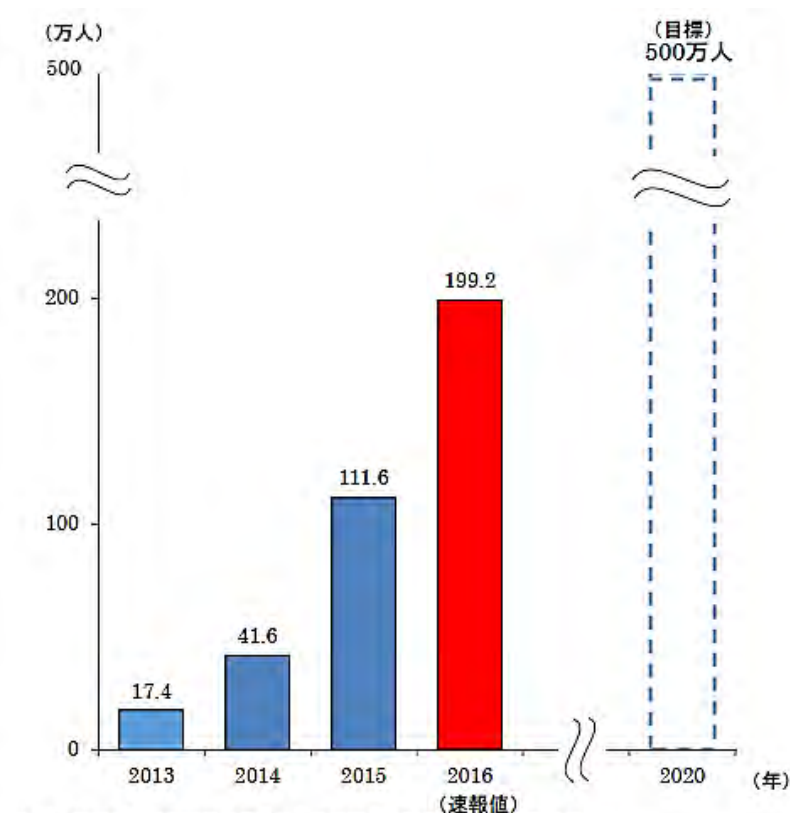
9. 参考資料

(1) 2016 年（1 月～12 月）我が国のクルーズ船等の動向について

① 訪日クルーズ旅客数

クルーズ船で入国した外国人旅客数（訪日クルーズ旅客数）は、2015 年に約 111.6 万人と初めて 100 万人を突破。2016 年は、前年比 78.5%増の約 199.2 万人を更に大きく増加し過去最高を記録。

図表 「2016 年の訪日クルーズ旅客数とクルーズ船の寄港実績（速報値）」



注1) 法務省入国管理局の集計による外国人入国者数で概数（乗員除く）。

注2) 1 回のクルーズで複数の港に寄港するクルーズ船の外国人旅客についても、（各港で重複して計上するのではなく）1 人の入国として計上している。

（出所）2017 年 1 月 17 日国土交通省発表資料

国土交通省では、「明日の日本を支える観光ビジョン」（2016 年 3 月 30 日）に掲げられた目標である「訪日クルーズ旅客を 2020 年に 500 万人」の実現に向けて、クルーズ振興に取り組んでいる。

② クルーズ船の寄港回数

2016 年のクルーズ船の寄港回数は、前年比 38.8%増の 2,018 回（外国船社 1,444 回、日本船社 574 回）で過去最高を記録。

図表 「2016 年の訪日クルーズ旅客数とクルーズ船の寄港実績（速報値）」



（出所）2017 年 1 月 17 日国土交通省発表資料

2017 年以降も訪日クルーズ旅客数とクルーズ船寄港回数は、大きく増加することが予測されており、クルーズ船では寄港地を中心に一度に多くの観光客が訪れ、グルメやショッピングなど地域での消費が生まれるとともに、外国人観光客との交流が進展するなど、地方創生にも大きく寄与することが期待される。

(2) 2016 年 9 月 5 日 共同ニュースリリース (一般社団法人ジャパンショッピングツーリズム協会／佐川急便株式会社)



TRANSPORT!
COMMUNICATION
SAGAWA



Japan Shopping!
Japan Shopping Tourism Organization

NEWS RELEASE

報道関係各位

2016 (平成 28) 年 9 月 5 日

佐川急便株式会社

一般社団法人ジャパンショッピングツーリズム協会

「おみやげ農畜産物検査受検円滑化」に向けた取組を開始
～訪日外国人のお土産農畜産物の持ち帰りを円滑化させる仕組みの構築～

SG ホールディングスグループの佐川急便株式会社（本社：京都市南区、代表取締役社長：荒木 寿夫、以下佐川急便）と一般社団法人ジャパンショッピングツーリズム協会（東京都港区、会長：田川 博己、以下 JSTO）は、農林水産省の「おみやげ農畜産物検査受検円滑化支援事業」の実施主体となり、直売所、道の駅等に立ち寄る訪日外国人旅行者やクルーズ船で訪日する外国人旅行者に対して、お土産として購入した農畜産物を国外へ持ち出す際に必要な動物検疫手続の円滑化に向けた取組を開始しています。

お土産用農畜産物の持ち帰りに当たっては、持ち出す相手国や品目によって動物検疫の条件が異なることや、手続が分かりにくいといった、訪日外国人の手間となっているという課題があります。動物検疫手続上の課題解決を図り、国外への持ち出しに検疫を必要とする外国人が円滑に農畜産物を持ち帰れるようにするため、以下の取組を実施します。

- 道の駅の直売所等で購入した農畜産物の持ち帰りを円滑化させる仕組みの拡大（実施主体：JSTO）**
直売所等を対象に、対象国・品目を拡大して取り組みます。
 - 訪日外国人や販売事業者に対する動物検疫手続の周知
 - 直売所や道の駅等、全国15箇所の店頭で、品目別取扱い異なる輸出検疫の条件表を掲示する
 - 直売所等からシンガポール向け畜産物輸出検疫条件を紹介するリーフレットを店頭設置する
 - 検疫手続円滑化の仕組みの構築
 - 輸出検疫手続の申請書を店頭へ設置し、販売事業者が輸出検疫を必要とする訪日外国人旅行者に対して、申請書の記載をサポートする
 - 訪日旅行者が購入した農畜産物のうち、輸出検査が必要なものについて、物流業者や旅行業者が受検を代行した上で、訪日旅行者の帰国日に合わせて空港に届け、検疫済みの農畜産物を空港で受け渡す取組等を実施する
- クルーズ船客に対し農畜産物の持ち帰りを円滑化させるモデルの構築（実施主体：佐川急便）**
クルーズ船客のお土産農畜産物の持ち帰りの際の検疫手続円滑化に向けたモデルを新しく構築します。
 - クルーズ船客向けに直売所やショッピングモール等へ、クルーズ船で訪日する外国人旅行者を誘導し、スムーズに検疫手続ができることを案内する
(販売する農畜産物は、受検することで相手国へ持ち込める農畜産物かつクルーズ船会社の船内持ち込み条件を満たすものから選定する)
 - 販売事業者等が、訪日外国人旅行者に対して動物検疫手続の申請書記載をサポートをおこなう
 - クルーズ船客の訪日観光中に物流事業者等が検疫手続を代行し、クルーズ船で帰国する際にターミナル付近のブース等で検疫済農畜産物を引き渡す

これらの取組の成果として、訪日外国人旅行者の輸出検疫手続や荷物の持ち運びにかかる手間が軽減されることが期待されます。

【実施場所】

- ・訪日外国人旅行者の検疫手続円滑化の仕組みの構築（実施主体：JSTO）

都道府県	市区町村	販売事業者	農畜産物
北海道	空知郡	とみたメロンハウス	メロン
宮城県	大崎市	道の駅 あ・ら・伊達な	柿、米等
栃木県	小山市	栃木いちごの里	いちご等
千葉県	千葉市	ドラゴンファーム	いちご
愛知県	常滑市	イオンモール常滑	りんご等
岐阜県	郡上市	郡上旬彩館やまの朝市	梨、ぶどう等
三重県	大台町	道の駅 奥伊勢おおた	米、みかん等
滋賀県	大津市	道の駅 ひつしう大橋米プラザ	柿、白菜等
兵庫県	朝来市	道の駅 但馬のまほろば	いちご、枝豆、牛肉等
岡山県	岡山市	吉備サービスエリア	ぶどう
岡山県	赤磐市	熊山英国産園地内	ぶどう、柿等
徳島県	三好郡	J A阿波みよしふれあい産直市	お茶、みかん、柿、ゆず等
福岡県	うきは市	やまんどん	ブルーベリー、梨、柿等
長崎県	南島原市	道の駅 みずなし本陣ふかえ	いちご、人参等
鹿児島県	曽於市	道の駅 すえよし	いちご、牛肉等

2016年8月～2017年1月にかけて実施（販売時期は事業者によって異なります）
※主な対象国【農産物】：タイ・台湾（台湾向け梨等、特別な輸出検疫条件のある農産物は除く）
【畜産物】：シンガポール

- ・クルーズ船客のお土産農畜産物の持ち帰り手続円滑化に向けたモデル販売（実施主体：佐川急便）

都道府県	対象港	対象国	農畜産物
福岡県	博多港等	中国	お茶
沖縄県	那覇港	台湾	野菜
神奈川県	横浜港	シンガポール	野菜加工品、果物缶詰、牛・豚肉加工食品

2016年9月～11月にかけて実施

【本件に関するお問合せ先】

佐川急便株式会社 広報部
 TEL 03-3699-3614

一般社団法人ジャパンショッピングツーリズム協会 広報
 TEL 03-6435-9116

佐川急便&JSTO

検疫手続き円滑化

農畜産物 国外に持ち出しやすく

佐川急便(熊本秀夫社長、京都市南区)とジャパンシッピングツリーズム協会(JSTO、田川博三会長)は5日、農林水産省の「おみやげ農畜産物検疫受検円滑化支援事業」の実施主体

となり、取り組みを開始した、と発表した。訪日外国人が直売所や道の駅で購入した農畜産物を国外に持ち出す際、動植物検疫手続きを円滑化させる仕組みを構築、相手国や品

周知や、検疫申請書の記載サポート、検疫済み農畜産物の空港での受け渡しなどを行う。

佐川急便は、クルーズ船の寄港地付近の直売所やショッピングモールなどに外国人旅行者を誘導し、検疫手続きを案内。また、観光中に検疫手続きを代行し、クルーズ船で出国する際、ターミナル付近でSGMーピング(別所規至社長、東京都江東区)などの物流事

業者が検疫手続きを代行するとともに、検疫済み農畜産物の引き渡しを担当する。

なお、佐川急便が実施主体となり、博多港で中国人旅行者にお茶を、那覇港で台湾人旅行者に野菜を、横浜港でシンガポール人旅行者に野菜加工品や果物缶詰めを、それぞれ9〜11月にモデル販売する。

(田中信也)

佐川急便株式会社

〒136-0075 東京都江東区新砂 2 丁目 2 番 8 号

電話 03-3699-3562

<http://www.sagawa-exp.co.jp>